

はりらんタイムズ 2014/12月号

ボードゲームの紹介

スピーチ

3～12人／8歳以上／5分×人数



両面とも絵が描かれたカードが120枚あります。山札からめくって出た絵柄を見ながら即興話を作って語り、高評価を得た人が勝ちというゲームです。説明書では2人でプレイして残りの人がどちらが良かったか投票するというルールですが、全員が順番にプレイして最後に全員一斉に指差しとかで一番を決める大喜利ゲームとして遊ぶことも多いです。



最初は2枚いっぺんにめくってどちらの絵から使うか選べますが、後は山札の一番上からめくって出てきた順で、5枚で話は終わりにしてオチをつけないといけません。

何の絵が出てくるかはさっぱりで、「そこでこれかー」という苦しい展開がいっぱいですが、周りはその困り顔を見ながら大爆笑。

うまく話を繋いだら拍手喝采、ダメでも笑いはとれるので気にせず思いつくまま語るのがコツです。話べたの人はちょっと苦手なジャンルらしいですが、身内(親しい人同士)の方が悪ノリや笑いのツボが合いやすいので、話をつなぐ練習にいいと思います。話術に自信がある人は、テーマを決めて2人でディベート(討論)を行うという遊び方もあるのでやってみてください。たぶん、関西人はこういうゲーム好きなんじゃないかな。

文：榎田孝志

兵庫の同人ゲームサークル紹介

ボードゲームサークル「豚小屋」

ボードゲームサークルの豚小屋です。

9月に大阪で行われたボードゲームフリーマーケットに「せっかくだからゲームを作ろうぜ!」とノリと勢いだけでゲームを作ったのが豚小屋の始まりです。

作り始めはまだ豚小屋の名前はありませんでした。ゲームを出すならサークル名も考えないといい始めましたが、

「サークル名、豚小屋にしようぜ〜」

「嫌ですよ!そんなサークル名だったらお客さん来ないですよ!」

「無駄にカッコつけるのも嫌やしな〜」

と激しい議論の末、結局「豚小屋」に決まりました。

フリーマーケットでは事前告知を殆どしていなかったのでゲームは全然売れませんでした(その場で試遊して頂いて購入された方もいましたが)、以降はインターネット上を中心に告知活動を精力的に行っています。(おかげさまで某有名ボードゲームサイトの管理人様のツイッターでも取り上げられました。)

ゲーム制作同様、ノリと勢いだけで始めたWEBラジオ「豚の鳴き声」も一部の方に好評をいただいています。ありがとうございます。

現在はゲームマーケット大阪2015に向けて新作ゲームを制作中です。

豚小屋のメインメンバーは2人だけですが、Makaiと同様に周囲の方の協力を得つつ、制作に励んでいます。お楽しみに!

これからも豚小屋をよろしくお願ひします!

公式HP 豚小屋: <http://butagoya.jimdo.com/>



制作ゲーム「Makai」

文：ボードゲームサークル豚小屋 アタック